

令和4年度匝瑛市病院事業会計決算の概要

病院事務局経理班
0479-72-1525

1 決算の状況

(単位:千円)

	病院事業	介護老人保健施設事業	合計
収益	2,202,544	618,670	2,821,214
費用	2,199,602	660,036	2,859,638
差引	2,942	△ 41,366	△ 38,424

繰入金	420,040	28,479	448,519
差引	△ 417,098	△ 69,845	△ 486,943

病院事業においては、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、外来患者数は僅かに回復したが、入院患者数は前年度よりも更に減少した。医業収益や他会計補助金が減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策の補助金の増加などにより、収益全体では前年度と比較して39,803千円(1.8%)増となった。費用では、給与費や経費、減価償却費が増加し、費用全体では前年度と比較して73,761千円(3.5%)増となった。病院事業では2,942千円の黒字(一般会計繰入金を差引いた場合、417,098千円の損失)となったが、前年度より33,958千円黒字幅が縮小した。

介護老人保健施設(そうさぬくもりの郷)事業では、二度の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響が大きく、入所者数、通所者数いずれも減少した。施設事業収益が減少したものの、補助金の増加により、収益全体では、前年度と比較し13,022千円(2.2%)増となった。費用では、給与費や経費、材料費が増加し、前年度と比較して28,697千円(4.5%)の増となった。その結果、介護老人保健施設事業では41,366千円の赤字(一般会計繰入金を差引いた場合、69,845千円の損失)となり、前年度より15,675千円赤字幅が拡大した。

病院事業合計では38,424千円の赤字となり、前年度より49,633千円収支が悪化した。

病院事業

(単位:千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
病院事業収益 A	2,202,544	100.0	2,162,741	100.0	39,803	1.8
医業収益	1,367,065	62.1	1,393,461	64.4	△ 26,396	△ 1.9
入院収益	645,336	29.3	674,827	31.2	△ 29,491	△ 4.4
外来収益	561,414	25.5	562,927	26.0	△ 1,513	△ 0.3
他会計負担金	53,312	2.4	53,614	2.5	△ 302	△ 0.6
その他医業収益	107,003	4.9	102,093	4.7	4,910	4.8
訪問看護ステーション収益	92,723	4.2	97,096	4.5	△ 4,373	△ 4.5
居宅介護支援事業所収益	34,623	1.6	34,831	1.6	△ 208	△ 0.6
医業外収益	708,133	32.1	637,353	29.5	70,780	11.1
他会計補助金	373,122	16.9	421,214	19.5	△ 48,092	△ 11.4
その他医業外収益	335,011	15.2	216,139	10.0	118,872	55.0
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	-
病院事業費用 B	2,199,602	100.0	2,125,841	100.0	73,761	3.5
医業費用	1,976,792	89.9	1,913,819	90.0	62,973	3.3
給与費	1,275,461	58.0	1,224,917	57.6	50,544	4.1
材料費	155,560	7.1	165,604	7.8	△ 10,044	△ 6.1
経費	418,069	19.0	403,958	19.0	14,111	3.5
減価償却費	123,539	5.6	116,754	5.5	6,785	5.8
その他医業費用	4,163	0.2	2,586	0.1	1,577	61.0
訪問看護ステーション費用	107,436	4.9	111,763	5.3	△ 4,327	△ 3.9
居宅介護支援事業所費用	34,332	1.5	29,232	1.4	5,100	17.4
医業外費用	79,862	3.6	69,221	3.2	10,641	15.4
支払利息	799	0.0	858	0.0	△ 59	△ 6.9
その他医業外費用	79,063	3.6	68,363	3.2	10,700	15.7
特別損失	1,180	0.1	1,806	0.1	△ 626	△ 34.7
差引(A-B)	2,942		36,900		△ 33,958	

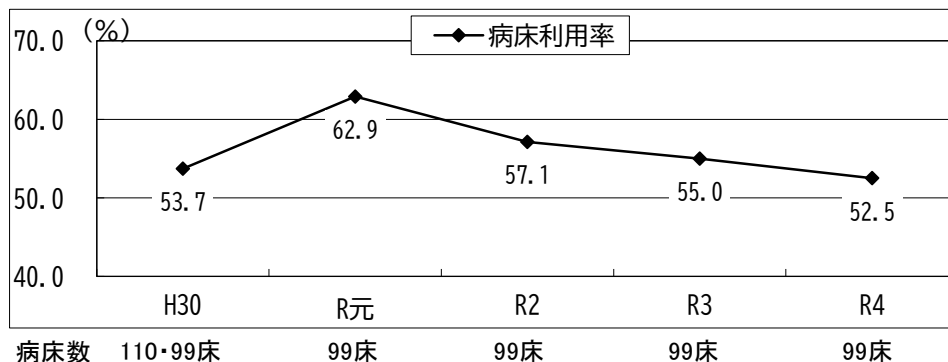
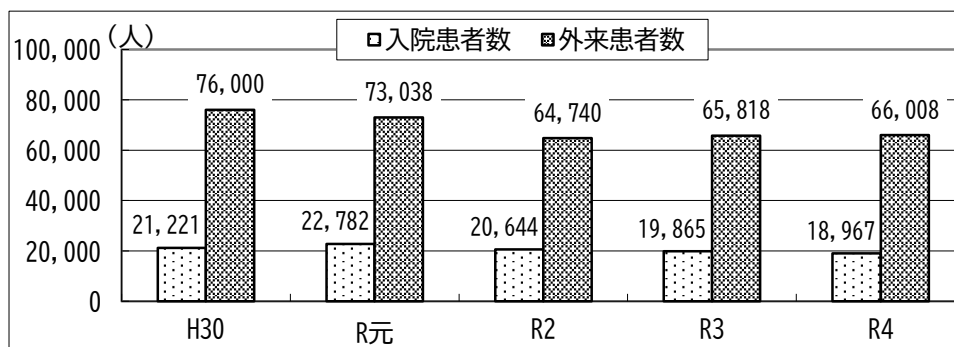
介護老人保健施設事業

(単位:千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
介護老人保健施設事業収益 A	618,670	100.0	605,648	100.0	13,022	2.2
施設事業収益	539,880	87.3	547,327	90.4	△ 7,447	△ 1.4
施設事業外収益	70,661	11.4	50,192	8.3	20,469	40.8
特別利益	8,129	1.3	8,129	1.3	0	-
介護老人保健施設事業費用 B	660,036	100.0	631,339	100.0	28,697	4.5
施設事業費用	634,811	96.2	607,347	96.2	27,464	4.5
施設事業外費用	25,225	3.8	23,992	3.8	1,233	5.1
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	-
差引(A-B)	△ 41,366		△ 25,691		△ 15,675	

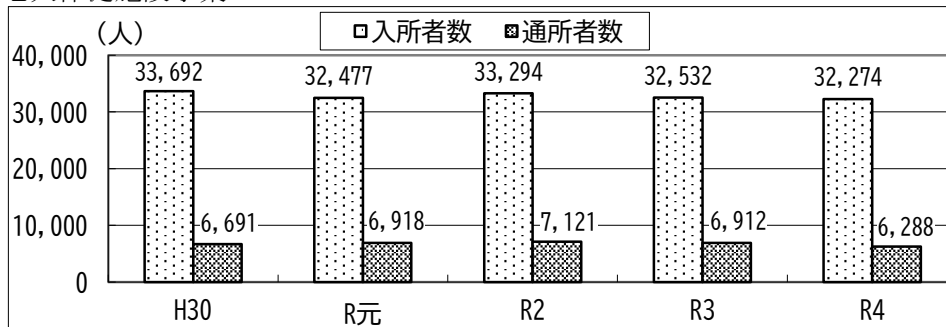
2 患者数等の状況

①病院事業



令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、入院患者数は、前年度に対して898人(△4.5%)減の18,967人、外来患者数は、前年度に対して190人(0.3%)増の66,008人となった。病床利用率は52.5%となり、前年度に対して2.5ポイント減少した。

②介護老人保健施設事業

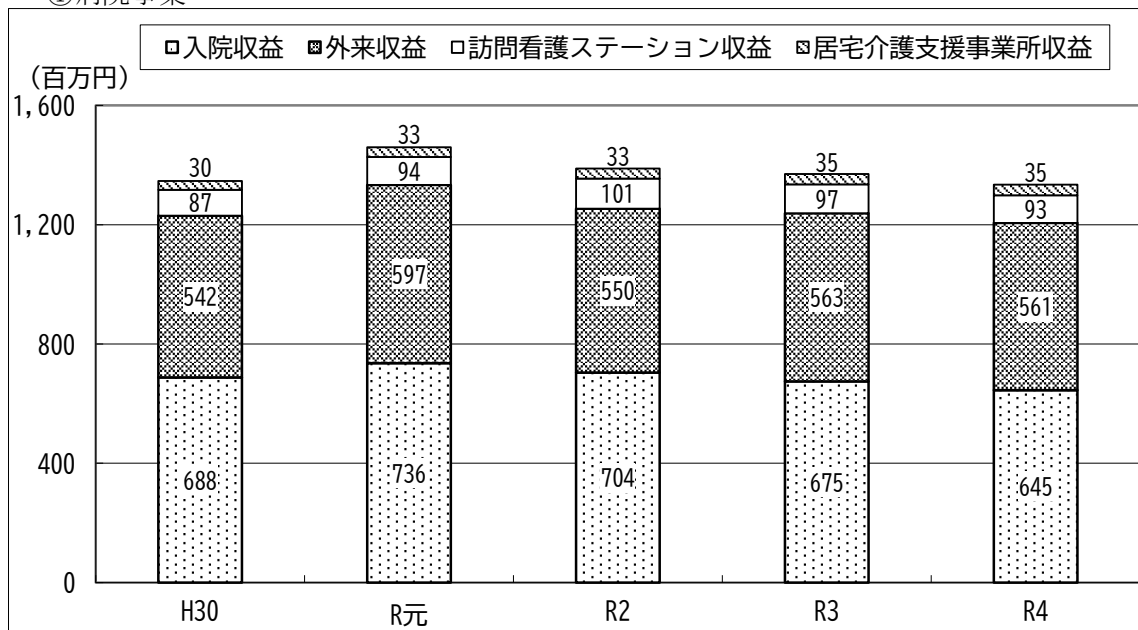


介護老人保健施設そうさぬくもりの郷は、二度の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響が大きく、入所者数は、前年度に対して258人(△0.8%)減の32,274人、通所者数は、前年度に対して624人(△9.0%)減の6,288人となった。

3 収益及び費用

(1) 収益

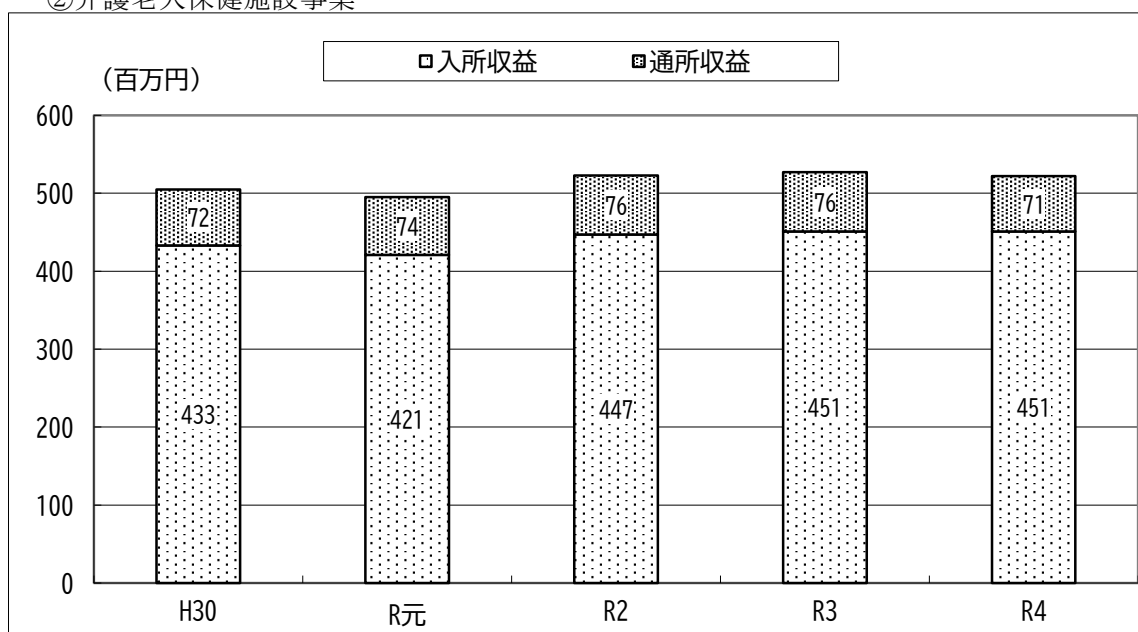
①病院事業



入院収益は、前年度に対して30百万円(△4.4%)減の645百万円、外来収益は、前年度に対して2百万円(△0.3%)減の561百万円となった。

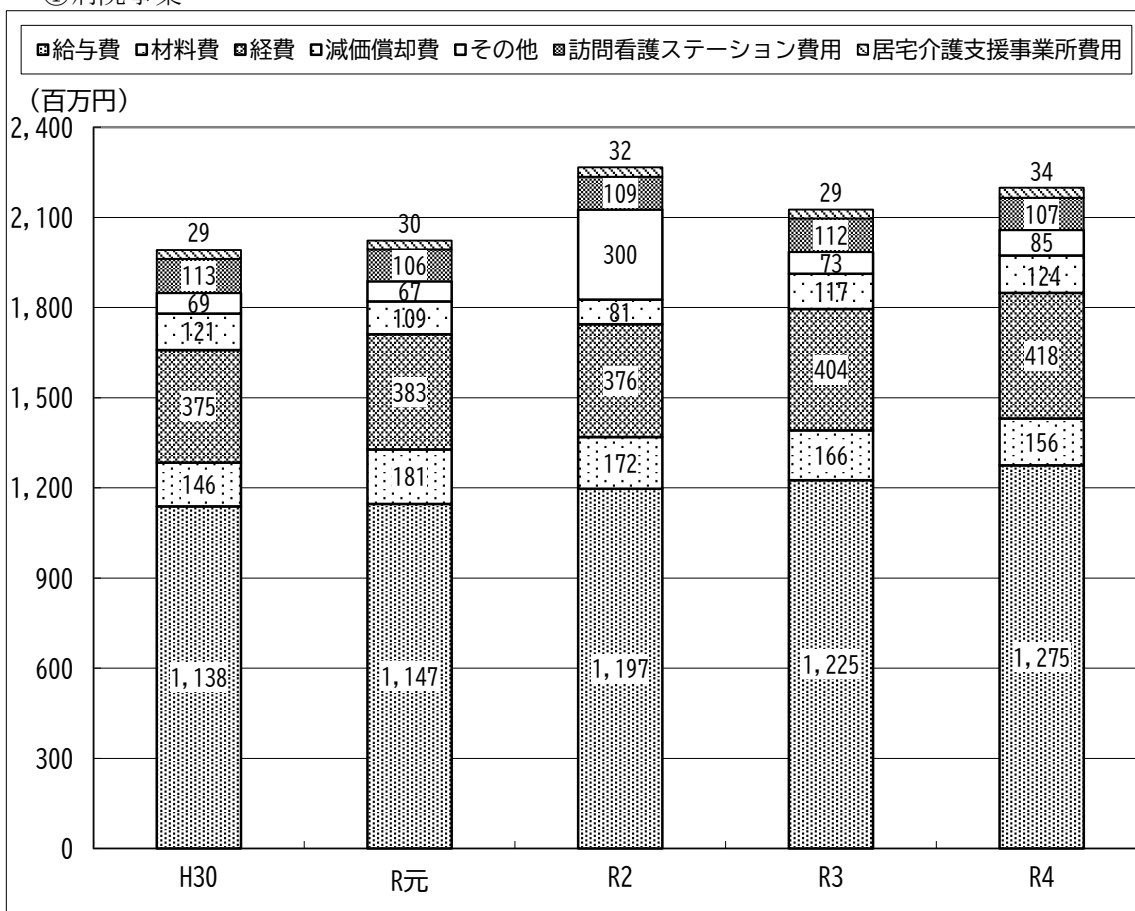
訪問看護ステーション収益は、4百万円(△4.5%)減の93百万円、居宅介護支援事業所収益は、ほぼ前年度同額の35百万円となった。

②介護老人保健施設事業



入所収益は、ほぼ前年度同額の451百万円、通所収益は、前年度に対して5百万円(△6.6%)減の71百万円となった。二度の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響が大きく、利用者数が減少し、収益は減少した。

(2) 費用
①病院事業



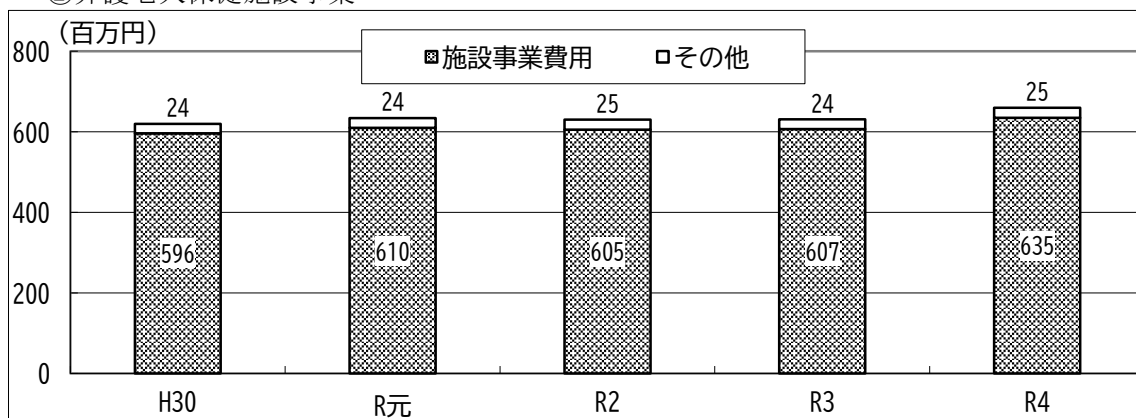
給与費は、常勤医師の増加などにより、前年度に対して50百万円(4.1%)増の1,275百万円となった。

材料費は、薬品費や診療材料費が減少し、全体では10百万円(△6.1%)減の156百万円となった。

経費は、委託料が減少したが、修繕費や光熱水費、燃料費が増加し、前年度に対して14百万円(3.5%)増の418百万円となった。

減価償却費は、7百万円(5.8%)増の124百万円となった。

②介護老人保健施設事業



施設事業費用は、給与費や経費、材料費が増加し、前年度に対して28百万円(4.5%)増の635百万円となった。

施設事業外費用は、前年度に対して1百万円(5.1%)増の25百万円となった。

4 経営指標の状況

(単位:千円、%)

区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R3年度 全国自治体 病院平均
経常収支比率	95.4	97.3	103.6	100.2	98.4	105.6
医業収支比率	74.3	78.8	74.9	72.8	69.2	85.1
医業収益に対する職員給与費	83.1	77.4	84.4	85.6	90.6	60.2
医業収益に対する医療材料費	10.0	11.4	11.5	10.9	10.5	25.3
1床当たり繰入金	5,225	5,545	5,591	5,313	5,490	4,166

(地方公営企業決算状況調査)

* 経常収支比率＝経常収益／経常費用 * 医業収益に対する職員給与費＝職員給与費／医業収益

* 医業収支比率＝医業収益／医業費用 * 医業収益に対する医療材料費＝医療材料費／医業収益

* 1床当たり繰入金＝繰入金／病床数

経常収支比率は、医業収益の減少と医業費用の増加により、前年度より1.8ポイント低下し、98.4%となった。

医業収支比率は、医業収益の減少と医業費用の増加により、前年度より3.6ポイント低下し、69.2%となった。

医業収益に対する割合は、職員給与費が90.6%で前年度より5.0ポイント増加し、医療材料費が10.5%で前年度より0.4ポイント低下した。

病床1床当たりの繰入金は、前年度より177千円増の5,490千円となった。

5 貸借対照表(令和5年3月31日)

資産の部

区分	金額
1 固定資産	
(1)有形固定資産	
ア 土地	180
イ 建物	747
ウ 建物付属	250
エ 構築物	5
オ 医療器械	188
カ 器具備品	123
キ 車両	5
ク リース資産	56
有形固定資産計	1,554
(2)無形固定資産	
ア 電話加入権	1
イ その他無形固定資産	55
無形固定資産計	56
(3)投資その他の資産	
ア 長期前払消費税	28
投資その他の資産計	28
固定資産合計	1,638
2 流動資産	
(1)現金預金	395
(2)未収金	429
(3)貯蔵品	10
流動資産合計	834

負債の部

(単位:百万円)

区分	金額
3 固定負債	
(1)企業債	698
(2)リース債務	41
固定負債合計	739
4 流動負債	
(1)企業債	140
(2)リース債務	14
(3)未払金	87
(4)引当金	102
(5)その他流動負債	11
流動負債合計	354
5 繰延収益	
(1)長期前受金	1,389
(2)収益化累計額	△ 1,003
繰延収益合計	386
負債合計	1,479

資本の部

区分	金額
6 資本金	3,267
資本金合計	3,267
7 剰余金	
(1)資本剰余金	
ア 受贈財産評価額	112
資本剰余金計	112
(2)利益剰余金	
ア 減債積立金	2
イ 建設改良積立金	9
ウ 当年度未処理欠損金	2,397
利益剰余金計	△ 2,386
剰余金合計	△ 2,274
資本合計	993

資産合計 2,472

負債資本合計 2,472

資産合計及び負債資本合計は、それぞれ24億72百万円で、前年度と比較すると97百万円の減額となった。

資産の部のうち固定資産合計は、前年度に対して1億12百万円減の16億38百万円となった。

流動資産合計は、前年度に対して15百万円増の8億34百万円となった。

負債合計は、前年度に対して69百万円減の14億79百万円となった。

資本合計は、前年度に対して28百万円減の9億93百万円となった。